

聖和園便り

なでしこ



目次

あいさつ	2
長寿祝い	3
運動会	4・5
お茶会・テイサービス・節分	6
新人職員紹介	7
研修・感謝の広場	8

No.44

令和2年4月1日発行

発行所

社会福祉法人 福井県済生会 聖和園
福井県大野市巖生 158 字 35 番地
電話 0779 - 66 - 3307
発行責任者 追別 小夜子



ホームページ <http://www.saiselkai-seiwaen.jp/>

新年度に向けて



社会福祉法人 恩賜 福井県済生会聖和園



園長 追 別 小夜子

昨年6月に園長に就任させていただき、早くも新年度を迎えることとなりました。この冬は、インフルエンザの罹患者もなく安堵したのもつかの間、国内で新型コロナウイルス感染者が続出し、日本中がその対応に迫られることとなりました。聖和園においても利用者様を守るため、全職員が不要不急の外出を自粛し、自らが感染しないよう予防に努めました。また時間を決めて、出勤者全員で館内清掃（次亜塩酸を使用）を行う等の対策を講じました。利用者様が楽しみにしておられるお誕生会や家族様の面会、家族会等の中止を余儀なくされ、大変ご迷惑をお掛けしました。今回、経験したことや取り組みをもとに、今後さらに予防対策を充実させ、感染症から利用者様を守っていかうと考えます。

介護保険制度が施行され今年で20年が経ち、「自立支援」はこれまで以上に注目されています。介護保険法が求める自立支援の概念は、本人の意思決定のもとに行われる「自分らしい生活を支援する取り組み」とされています。

これまでは自立を狭く理解し、心身機能の向上を重点目標とした時期もありましたが、本当に利用者様が求めている

のは、できなくなった機能を取り戻すこと以上に、現状に応じた「普通の暮らしの中での幸せ」であることを痛感しています。利用者様の生活習慣に合わせた日課を実現するため、業務内容を見える化し、専門職が行う業務と介護補助が行う業務を分け、利用者様との関りや個別のニーズに対応できるような体制を整えました。また、全職員が標準的な対応やケアが提供できるよう更なる研修の充実を図ろうと考えています。

少子化により年々働き手が不足し、外国人をはじめとしたいろいろな方の助けなしには施設運営ができなくなると懸念されています。今後の福祉を取り巻く環境を見据え、今年度、聖和園の未来を考える、また多様な働き方のできる職員を育成する「人材開発課」を新設いたしました。

利用者様の尊厳を保持し自律を支援していく施設、時代に応じて変革していく施設、共に学び活力ある施設、そして地域の方々に信頼される施設になるよう努めて参りたいと考えておりますので、皆様方の一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

長寿祝いの



9月20日

百歳を迎えたご利用者様4名に、内閣総理大臣からの
お祝い状と、記念品が贈呈されました。

9月17日

福井県済生会支部の訪問があり、三浦支部長、登谷院長から記念品が贈られました。



皇后陛下雅子様のご誕生日にあたり、皇后陛下より老人福祉施設の入所者に御下賜品（手拭）を賜りました。手拭は特養入所の方々にお贈りしました。





運動会

10月 20日

利用者様が赤組、青組に分かれて、玉入れ、パン食い競争等、熱戦を繰り広げました。笑顔あふれる運動会となりました。





運動



ベスト
スマイル



はいりますように…!



活動報告

1年を通して、利用者様が楽しめるような行事を企画し、心身機能の維持向上に努めています。



日本の四季とおもてなしの心を感じられるようにお茶会を行いました。今回のお茶うけは、和菓子ーその場でたてたお抹茶と一緒に召し上がって頂きました。午後の「ほっと一息」で皆さん満足のご様子でした。

一月二十六日
お茶会



デイサービス

12月10日、人権についての講演会（人権擁護委員）と荒島保育園園児の訪問がありました。人権擁護の内容は興味深く、どの利用者も真剣に話を聞かれています。園児の歌や踊り、触れ合いを通じて、みなさん「笑顔！」で大変喜ばれておりました。



2/3 節分

「鬼は一外、福は一内。」
新聞紙で丸めて作った玉で豆まき。
一年の無病息災をお祈りしました。
今年もまた、健康で幸せな
一年になりますように・・・。



新人職員紹介



栄養管理課 調理員
斎藤可奈子

利用者様の栄養管理と安全で美味しい食事の提供に努めます。



栄養管理課 調理員
佐藤はな

新潟から来ました、栄養課の佐藤です。よろしくお願いいたします！



栄養管理課 調理員
山下暁子

新たに聖和園の一員として頑張ります。よろしくお願いいたします。



栄養管理課 調理員
黄倉春花

利用者様が笑顔になるようなお食事を提供していきたいと思います。



在宅サービス課 看護職員
宮川咲恵

去年の10月よりデイサービスで働かせて頂いています。ご利用者の方々に、「今日1日楽しかった。」と笑顔で1日過ごしてもらえよう精一杯努めます。どうかよろしくお願いいたします。



サポート課 介護職員
下出アン ポリド
よろしくお願いいたします。



南A棟 介護職員
木原美智子

利用者さんに寄り添った介護に努め、園での楽しい生活を送れるよう支援していきたいと思っています。



東棟 介護職員
松原三和

仕事を覚えるのに必死な毎日ですが、笑顔を忘れず、又、利用者様にも笑顔になっていただけるように支援させていただきます。



南B棟 介護職員
斎藤久展

早く仕事に慣れて、利用者様と楽しい時間を過ごせるように頑張っていきたいと思っています。



南A棟 介護職員
斎内百合

一日も早く、お役に立てるよう、一生懸命頑張ります。宜しくお願いします。



園内外の研修に参加し、より良い介護が提供できるよう、
職員一同、スキルアップに努めています。

- 11月20日 感染予防研修
- 1月10日 人権擁護研修
- 2月27日 サービス適正化・接遇研修



介護サービス向上委員会 園内研修



地域と共に

(家族介護教室・地域貢献活動)

「地域で介護を必要とするお年寄りと一緒に生活しておられる家族の為に、介護の基本、医学、食生活、運動などについて、より良い介護に向けての基本作りを支援しています。」

2月6日 不動堂集落センターで聖和園の理学療法士が、「介護を受けない元気な体づくり、座ってできる体操」出前講座を行いました。



苦情、要望がございましたら、お気軽に聖和園職員にお申し出ください。代表番号 ☎ 0779-66-3307

受け付け 担当者

特 養 ショートステイ(わらびの郷) デイサービス	村 上 嶺 日 子 安 間 和 江 高 畑 真 代	わらびようデイサービスセンター 訪問介護サービスセンター 居宅支援事業所	伊 東 ゆう子 井 口 由加里 小 椋 安 代
---------------------------------	---------------------------------	--	-------------------------------

福井県済生会聖和園 の理念 利用者の立場で考える

○基本方針

- 一、地域の一員として信頼される施設
- 二、変革していく施設
- 三、ともに笑ひ、活力溢れる施設
- 四、尊厳を保持し自立を支援していく施設

○行動指針

- 一、私たちは、利用者の立場にたって行動します。
- 二、私たちは、信頼される介護技術を提供します。
- 三、私たちは、チームワークを高め、活力溢れる職場をつくります。

感謝の広場

- ▽来園▽
上庄保育園 様
荒島保育園 様
 - ▽寄贈・寄付▽
高橋亨子 様
荒川義彦 様
 - ▽華仕・ボランティア▽
ナルク奥越支部 様
傾聴ボランティアアよつば会 様
人権擁護委員 様
山口明美 様
澤田美子 様
印牧みさ子 様
鷺尾のぶ子 様
- たくさんの方々の御好意
ありがとうございました

